

# 報告書

第5回 J L A シミュレーション審査会

2021年3月  
公益財団法人 日本ライフセービング協会

# 目次

1. 概要
2. 審査会風景写真
3. 所感

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

## 第5回JLAシミュレーション審査会 実施細部

### 審査会実施概要

#### 1. 実施日・実施場所

2020年 9月12日(土) 千葉県夷隅郡御宿町須賀 御宿海水浴場

2020年10月24日(土) 神奈川県三浦郡葉山町下山口 大浜海岸

2020年12月20日(日) シミュレーション審査会リモート(レスキューミーティング内)

### 想定実施細部

#### 1. 想定の概略

係員統括(以下統括)の『想定はじめ』の合図で計測開始とします。

6名態勢で通常の監視業務中に有事が起きてしまった。

他にも遊泳客は存在し、海のコンディションは当日の状況とします。

遊泳禁止等の判断は海浜組合・役場の3者と協議し決定しているため容易に変更できない状況です。

実施者により仮想119通報があり、救急隊要請された場合、後に救急隊が到着します。

統括の『想定終了』の合図によって審査終了とします。

想定に別途変更などあった場合、当日事前説明時に変更点や付加事項など、告知できる範囲で実施チームにお知らせします。

#### 2. 実施時間 9分間

#### 3. 実施人数 6名 内訳(監視長1名 監視員5名)

#### 4. 使用資器材

レスキューボード、レスキューチューブ×2、双眼鏡、パイプ椅子×3、拡声器、AED(訓練用AED、訓練用パット×2)、バックボード、ネックカラー、ヘッドイモビライザー、傷病者記録票(バインダー含む)、ディスポグローブ×100、詰所テント、トランシーバー×4基(仮想消防含む)、はさみ、滅菌精製水の入ったボトル、お湯の入ったボトル、氷のう×1、毛布、雑誌、ひも、傘。

※JLAが用意する使用資器材に不足を感じた実施チームは、普段パトロールに使用している資器材を持ち込み可能とします。タイムテーブルに支障をきたさない範囲(浜に侵入後3分以内)で準備してください。

#### 5. 審査項目【審査表は当日審査員に配付】

① 継続監視要領

② ライフセーバー間の連携要領

③ 傷病者への観察要領

④ 救急隊への引き継ぎ要領

⑤ 観衆への対応要領

⑥ 監視長の指揮要領

⑦ 資器材の適正な取扱い要領

⑧ 環境に配慮した対応要領(感染対策含む)

⑨ 接遇要領

⑩ 関係者の対応要領

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

## 想定概略

制限時間 1チーム **9分**

係員統括(以下統括)の『想定はじめ』の合図で計測開始とします。

6名体制で通常の監視業務中に有事が起きてしまった。

他にも遊泳客は存在し、海のコンディションは当日状況とします。

遊泳禁止等の判断は、海浜組合・役場の3者と協議し、決定しているため、容易に変更できない状況です。

統括の『想定終了』の合図によって、審査終了とします。

※ 想定に別途変更点などあった場合、当日事前説明時に変更点や付加事項など、告知できる範囲で実施チームにお知らせします。

## チーム構成

実施人数 1チーム **6人**

内訳：監視長1名・監視員5名

## 審査項目

- |             |                 |            |
|-------------|-----------------|------------|
| ① 継続監視要領    | ⑤ 観衆への対応要領      | ⑨ 接遇要領     |
| ② 的確な観察要領   | ⑥ 監視長の指揮要領      | ⑩ 関係者の対応要領 |
| ③ 監視員連携要領   | ⑦ 資器材の適正な取扱要領   | ⑪ 観察・救護要領  |
| ④ 救急隊への引継要領 | ⑧ 周囲状況を考慮した対応要領 |            |

## 早期発見から医療機関への引継ぎ連携まで！

ライフセーバーの海水浴場における監視活動中に発生する、あらゆる水難事故・傷病を想定し、ライフセーバーの救助救命技術の向上やライフセーバー間の技術共有だけでなく、公的救助機関との高度な連携を図ることで、傷病者の社会復帰を確実にすることが、審査会の実施目的です。また審査会を実施者・審査員が共に学び、成長できる機会にするとともに、審査会を通じて、各地のライフセーバーと公的救助機関との連携促進をめざします。

## Timetable & Team List

2020年9月12日 土曜日  
千葉県御宿町  
御宿中央海岸

2020年10月24日 土曜日  
神奈川県葉山町  
葉山大浜海岸

11:00	実施チーム受付開始	10:00	開会式 初めの挨拶
12:00	開会式 初めの挨拶		ご来賓・審査員他、紹介
12:05	ご来賓・審査員他、紹介	10:30	第1回目 熱川ライフセービングクラブ
12:30	第1回目 九十九里ライフセービングクラブ	10:45	第2回目 銚子ライフセービングクラブ
12:45	第2回目 勝浦ライフセービングクラブ	11:00	第3回目 鹿嶋ライフガードチーム
13:00	第3回目 西浜サーフライフセービングクラブ	11:15	第4回目 西浜サーフライフセービングクラブ
13:15	第4回目 横浜海の公園ライフセービングクラブ	11:30	第5回目 逗子サーフライフセービングクラブ
13:45	公的救助機関、審査長、MD、SV他 講評	11:45	第6回目 大竹サーフライフセービングクラブ
14:45	終了予定	12:00	昼休み
15:15	解散予定	13:00	第7回目 東海大学湘南校舎体育会ライフセービングクラブ
		13:15	第8回目 南伊豆ライフセービングクラブ
		13:30	第9回目 葉山ライフセービングクラブ
		13:45	第10回目 横浜海の公園ライフセービングクラブ
		14:10	講演 アミノ酸によるコンディショニングについて 味の素株式会社
		14:30	公的救助機関、審査長、MD、SV他 講評
		15:30	終了



### ■主催■

公益財団法人 日本ライフセービング協会

### ■後援■

消防庁、海上保安庁、千葉県、神奈川県、葉山町

### ■助成■

公益財団法人 日本財団

### ■協賛■

味の素株式会社、株式会社櫻井興業GUARD事業部

### ■協力■

御宿町、勝浦海上保安署、夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部、  
一般社団法人御宿町観光協会、フクダ電子株式会社  
第三管区海上保安本部、葉山町消防本部  
国士舘大学防災・救急救助総合研究所  
フクダ電子株式会社、株式会社ピースフル  
NPO 法人神奈川県ライフセービング協会  
東京消防庁ライフセービングクラブ  
NPO 法人葉山ライフセービングクラブ

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

## 【審査会の趣旨】

ライフセーバーの海水浴場監視活動中に発生するあらゆる水難事故を想定し、溺水者や傷病者を早期に発見し、迅速で的確な一次救命処置から救急隊及び医療機関へ引き継ぐまでの連携技能を高めることで、溺水者、傷病者の社会復帰を確実にする。

## 【審査会の目的】

監視業務継続中、有事の対応及び医療機関まで『命をリレーする一員』として、連携能力向上を目的とする。

# 第5回 J L A シミュレーション審査会の概要

**非公表想定 1** 各チームの事前トレーニングのために予め想定を公表しますが、一部をブラインドとします。ブラインド部分について各チーム想定し、技能及び連携能力向上に活かしてください。

時間	項目	備考
0分	監視員（以下LS）詰所テント（以下監視台）に実施チームは待機 固定監視 監視長の「準備よし」の呼称があったら 統括の『想定はじめ』の合図で計測開始	
想定開始後 0秒後スタート 本部前波打ち際から	監視本部目の前の波打ち際から、関係者友人 A（年齢実年齢、会社員、堀口洋太(ようた)若しくは洋子(ようこ)）に付き添われ、『たぶんクラゲ…痛すぎる…』『痛い…』と訴え、監視本部内に侵入してくる。傷病者(年齢実年齢、自営業、丸田悠生(ゆうき)若しくは悠子(ゆうこ))。水深 30cm位の波打ち際で激痛を覚える。激痛のため終始苦悶。よく見ると右前腕に水色の触手残存物あり。 想定のならい：受傷原因はカツオノエボシ刺傷によるアナフィラキシーショックを理解し適切な処置ができるか。 想定の流れと説明：カツオノエボシ刺傷では、たんぱく質毒のため 40℃程度のお湯に浸さない限り刺胞毒が不活性化し痛みが治まらない。受傷部位に触手残存物があるため、JLASURF 教本で示す対応がなされるか審査項目となる。 腕を取りたくなくなるほどの激痛を覚える。 湯に浸けて痛みを軽減する処置ができるか判断が必要である。 バイタル：意識清明、その他実測通り、容態変化は温める行為が監視本部着 3分以内に無いとのうち 回るほど痛みが増す。ないといつまでも痛いと言出し、質問に答えることも困難な状況になる。	
想定開始後 45秒後スタート 海の家から駆け寄ってくる	胸ほどの水深から傷病者をうつ伏せで抱え上げる発見者が助けを呼ぶ 発見者は、株式会社富島の経営者（年齢実年齢、佐伯修司(さえきしゅうじ)若しくは修子(なおこ)）。遊泳中に、付近にいた傷病者の動きを不審に思い抱え上げると意識のない状態に気づき助けを呼んだが、いつから浮いていたのか、前後の状況は全く分かっていない。 傷病者（年齢実年齢、アパレル経営役員、永山満(みつる)若しくは満江(みつえ)） 傷病者バイタル：(生体中川委員、意識レベル 300) 顔面蒼白、無表情、脈は弱く、橈骨でふれず、呼吸なし、LS 接触後 1分連続 3回 胃内容物逆流 飯 類大量に準備)。上記状況 以外は見たまま、外傷無し。(負荷想定は傷病者の胸部に付加想定項目を表記する。) 処置：保温・嘔吐に対応して回復体位にして救急隊へ引継ぎ 感染防止対策が十分なされているかの確認 感染防止着・マスク・ディスポグローブなど、ファーストが未装着だったものをセカンド・サード・監視本部がいかに連携し、最大限の感染防止対策に取り組めるかが重要な審査項目。  関係者友人 B は、LS が傷病者を水から引き上げた時に現れる。慌てており、LS 接触後 30秒間は傷病者に『大丈夫？どうしたの？』と大声で話すだけで会話にならない。氏名年齢は聞かれなければ答えない。その後、荷物を取りに駐車場行きたいと訴え始める。行かせてしまうと救急隊到 1分後まで戻ってこなくなる。 駐車場に向かわせず、確保し傷病者の人定など情報収集すれば、以下の情報が得られる。 傷病者の名前（年齢実年齢、アパレル経営役員、永山満(みつる)若しくは満江(みつえ)）、電話番号は携帯をいじってしばらくしてから回答 090-7000-5762、住所は回答できない品川区とだけ回答。 関係者（友人）からの情報は、波打ち際で遊んでいたが、シュノーケリングに夢中で、傷病者の状況が把握できていない。20分前に傷病者を見たがその後は分からない。 関係者（友人）は救急車に同乗可能（駐車場自家用車はどうすれば…） 119番通報はトランシーバーにより仮想消防を呼び出せばそれぞれ出場する。	
想定開始 5分後	救急隊砂浜に到着（革靴で資器材多数：サブストレッチャー、隊長バック、吸引機、除細動器、酸素バック）	
想定開始 7分後	A 隊長指示で、搬送開始 それまでは A 隊は観察継続	
想定開始 9分後	車内収容完了 監視業務継続 統括の『想定終了』の合図で計測終了	6

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

2020年9月12日(土)千葉県御宿会場 当日タイムテーブル

時間	項目	備考
09:50	エキストラ集合	
10:00	係員集合 エキストラ説明会開始	
10:30	審査員説明開始	
11:00	審査員・エキストラ説明終了 実施チーム受付開始	
11:50	全実施チーム代表者本部テント前集合 開会式に伴い集合	
12:00	<p>主催者挨拶                      公益財団法人 日本ライフセービング協会 (JLA) 理事長 入谷 拓哉                      ご挨拶 御宿町長 石田 義廣 (いしだよしひろ) 様</p> <p>紹介 審査員 御宿町 産業観光課 班長 柴原 進一 (しばはらしんいち) 様                      紹介 審査員 海上保安庁勝浦海上保安署 次長 坂本孝太郎 (さかもとこうたろう) 様                      紹介 講評者 夷隅郡市広域市町村圏事務組合 消防本部                      御宿分署長 本田 博一 (ほんだひろかず) 様                      救急隊エキストラ 御宿分署 伊丹 康一郎 (いたみこういちろう) 様                      救急隊エキストラ 御宿分署 奈良輪 竜也 (ならわたつや) 様                      救急隊エキストラ 御宿分署 長谷川 裕也 (はせがわゆうや) 様</p> <p>紹介 審査員 夷隅郡市広域市町村圏事務組合 消防本部                      勝浦消防署 篠田 智哉 (しのだともや) 様                      熱川LSC 調整中                      九十九里LSC 池端 拓海 様                      勝浦LSC 五十嵐 章雄 様                      西浜SLSC 新川 将吾 様                      横浜海の公園LSC 善波 雄一郎 様                      アカデミー本部 阿部 健                      スポーツ本部 西山 俊                      教育本部 小田 眞木子                      JLAM 国士舘大学大学院救急システム研究科 教授 田中秀治                      JLAM 君津中央病院 救命救急センター長 北村 伸哉                      JLAM 南多摩病院 統括外科部長 朽方 規喜                      JLA スーパーバイザー 小 峯 力 (中央大学教授)                      JLA スーパーバイザー 山本 利春 (国際武道大学教授)                      他...</p> <p>司会進行 JLA 常務理事/溺水防止救助救命本部長 石川 仁憲                      事務連絡及び補足説明 JLA 溺水防止救助救命副本部長 菊地 太</p>	
12:30	第1回目実施 熱川ライフセービングクラブ	
12:45	第2回目実施 九十九里ライフセービングクラブ	
13:00	第3回目実施 勝浦ライフセービングクラブ	
13:15	第4回目実施 西浜サーフライフセービングクラブ	
13:30	第5回目実施 横浜海の公園ライフセービングクラブ	
14:00	各公的救助機関、MD、SV、審査員 講評 表彰 事務連絡	
15:00	<p>■実施チーム 撤収は審査員以外協力                      本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散</p>	
15:30	■事務連絡 全係員解散	

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

2020年10月24日(土) 神奈川県葉山会場 [当日タイムテーブル](#)

時間	項目	備考
07:00	係員集合 会場設営開始	
08:00	会場設営完了 エキストラ説明会開始	
08:30	エキストラ説明完了 審査員・救急隊エキストラ説明開始	
09:00	審査員説明終了 実施チーム受付開始	
09:50	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合	
10:00	主催者挨拶 日本ライフセービング協会 入谷拓哉 理事長 ご挨拶 葉山町長 山梨崇仁 (やまなしたかひと) 様 ご挨拶 三管区海上保安本部 警備救難部 救難課長 寺門 嘉之 (てらかどよしゆき) 様 紹介 講評 横須賀海上保安部 警備救難課長 吉田 恵明 (よしだのりあき) 様 紹介 審査員 横須賀海上保安部 警備救難課 救難係長 永田 直史 (ながたなおふみ) 様 紹介 審査員 葉山町消防本部 主任 近藤 毅歩 (こんどう たけほ) 様 紹介 審査員 横浜海の公園ライフセービングクラブ 座間 吉成 紹介 審査員 葉山ライフセービングクラブ 高橋 啓一 紹介 審査員 南伊豆ライフセービングクラブ 佐滝 悠太 紹介 審査員 東海大湘南校舎ライフセービングクラブ 福島 圭介 紹介 審査員 大竹サーフライフセービングクラブ 有賀 滉 紹介 審査員 逗子サーフライフセービングクラブ 柳原 拓実 紹介 審査員 西浜サーフライフセービングクラブ 遠藤 勝久 紹介 審査員 鹿嶋ライフガードチーム 西田 昌貴 紹介 審査員 銚子ライフセービングクラブ 米澤 袖衣 紹介 審査員 熱川ライフセービングクラブ 石田 晃裕 紹介 審査員 JLAアカデミー本部 村井 亜紗子 紹介 審査員 JLAスポーツ本部 西山 俊 紹介 審査員 JLA教育本部 大山 玲奈 紹介 審査員 JLAMD 君津中央病院 救命救急センター長 北村 伸哉 先生 紹介 審査員 JLAMD 厚生労働省関東信越厚生局医療課医療監視員 医師 吉澤 大 先生 紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 中見 隆男 紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 足立 正俊 事務連絡及び補足説明	
10:30	第1回目実施 熱川ライフセービングクラブ	
10:45	第2回目実施 銚子ライフセービングクラブ	
11:00	第3回目実施 鹿嶋ライフガードチーム	
11:15	第4回目実施 西浜サーフライフセービングクラブ	
11:30	第5回目実施 逗子サーフライフセービングクラブ	
11:45	第6回目実施 大竹サーフライフセービングクラブ	
12:00	審査員・係員・エキストラ 昼食	
13:00	第7回目実施 東海大学湘南校舎体育会ライフセービングクラブ	
13:15	第8回目実施 南伊豆ライフセービングクラブ	
13:30	第9回目実施 葉山ライフセービングクラブ	
13:45	第10回目実施 横浜海の公園ライフセービングクラブ	
14:10	講演 「アミノ酸によるコンディショニングについて」 味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部 スポーツニュートリション部 マーケティンググループ 若井 友里子 (わかいいゆりこ) 様	
14:30	各公的救助機関、MD、スーパーバイザー、他、審査員の講評 表彰 事務連絡	
15:30	■実施チーム 撤収は審査員以外協力 本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散	
16:00	■事務連絡 全係員解散	



# 第5回 JLA シミュレーション審査会の概要

2020年12月20日(日)レスキューミーティング内で実施

2020年11月26日

## 2020年 JLA レスキューミーティング実施について

JLA 溺水防止救助救命本部

日本ライフセービング協会（JLA）では、「水辺の事故ゼロ」を目指し、より質の高い監視救助活動を行うことを目的に、溺水事故防止や救助救命に関する事項、溺水事故の事例検証等について議論する『JLA レスキューミーティング』を2012年より定期的実施しています。毎年、対面にて行ってきましたが、今年度はCovid-19に対する感染予防としてオンラインでの開催と致します。

今年度の監視救助活動は、猛暑のなかでの感染防止対策により例年に比べて過酷な状況であったと考えます。適切な感染防止対策の実施とパフォーマンス維持のためのコンディショニングは次年度の活動にも求められます。一方、近年は地震や豪雨などの災害が頻発しており、自然災害に対してライフセーバーとして最低限の知識は必要です。そこで、2021年度のレスキューミーティングは下記項目にて実施します。第5回 JLA シミュレーション審査会検証会では、審査会が開催できなかった地域の方々含め、全国のライフセーバーの皆様にとって次年度の活動の参考になると考えます。全国より多くの皆様のご参加をおまちしております。

### (1) 日時/方法

- ① 2020年12月20日(日) Web 受付開始 13:00 開講 13:30~15:30 終了予定
- ② zoom を活用しオンライン開催
- ③ 参加申し込み後に、参加者に対して参加 URL などの知らせ致します。

### (2) プログラム内容

- ① 災害への備え その時どうする?~平時の備え・津波避難の観点から~/JLA 防災対策室
- ② 講演:「アミノ酸によるコンディショニングについて」  
味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部  
スポーツニュートリション部 マーケティンググループ 若井 友里子様
- ③ 第5回 JLA シミュレーション審査会検証会/JLA パトロール能力向上委員会  
※状況によりプログラム内容・時間に変更ある場合があります。

### (3) 参加対象者

プログラム内容は監視救助活動に関する重要事項です。下記対象者は必ずご出席下さい。

- ① ライフセービング活動を志し、出場する審査会の過去2年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に2.5時間以上従事した者。
- ② 締め切り日までに、本協会の第1種から第6種の団体に登録している者。
- ③ ベーシック以上の資格を所有している者。実施者が高校生の場合は、BLSおよびWS以上の資格を所有している者。

### (4) 定員 制限なし

### (5) 参加費 無料

### (6) 申し込み方法

- ① 下記 URL 若しくは右 QR コードのエントリーフォームから応募してください。  
<https://forms.gle/V6pinKX6wvrgsBr37>
- ② 募集締切 12月17日(木) 正午まで
- ③ 個人での参加になりますが、クラブ代表の許可を得てください。



### (7) 募集に関する問合せ先

日本ライフセービング協会 事務局 担当 中山 宛  
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F  
TEL: 03-3459-1445 (12:00-18:00) / FAX: 03-3459-1446  
E-mail: nakayama@jla.gr.jp



# 第5回 J L A シミュレーション審査会の概要

## 会場図



## 第5回 シミュレーション審査会【神奈川.葉山】会場レイアウト



本部テント受付にて参加者・係員・見学者含むすべての方の検温を実施します。検温実施後は、実施済みのリボンを手渡しますのでご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

# 第5回JLAシミュレーション審査会の概要

リモートでPowerPoint及び動画を活用し実施 **121**名参加



参加者都道府県分布





2020年10月24日(土)神奈川県葉山会場



2020年9月12日(土)千葉県御宿会場



葉山会場では毎年救急隊員のエキストラ役に従事して下さる東京消防庁ライフセービングクラブ含めた現役消防吏員の皆さん。

普段の活動から、引き継がれる救急隊員が何を求めているのかご教示して下さいます。

多くのギャラリーがいる中で、本番さながらの緊張感。葉山会場に参加した10チーム60名のライフセーバーは、多くの失敗と発見があったのではないのでしょうか。この事は海水浴場シーズンの有事の際には、水辺利用者にとって有益となります。





全国のライフセーバーが活動する多くで、各資器材を砂のある環境下で限りなく清潔を保って取り扱わなければなりません。

ここも大きな課題であり、実施チームのパフォーマンスを多くのライフセーバーが見ることで、良いものは盗み、結果水辺利用者の安全に反映されていきます。





各チームは、感染症対策として様々な装備を検討してこられたことでしょう。

真夏の灼熱の環境下で、マスクや防護衣、ゴーグルやグローブなど、脱装着のしやすさを含め、まだまだ進化を続けていかねばなりません。



葉山会場では、自身の実施後に他のチームの活動を見学しつつ、自分たちの行動の振り返りと今後の検討課題に、自発的に話し合っている姿が見られました。クラブ単位ではなかなか作ることのできない緊張感の中での活動は、多くの反省事項や課題が見えてくるものです。彼らの姿勢は、多くの水辺利用者に安心感を与えます。



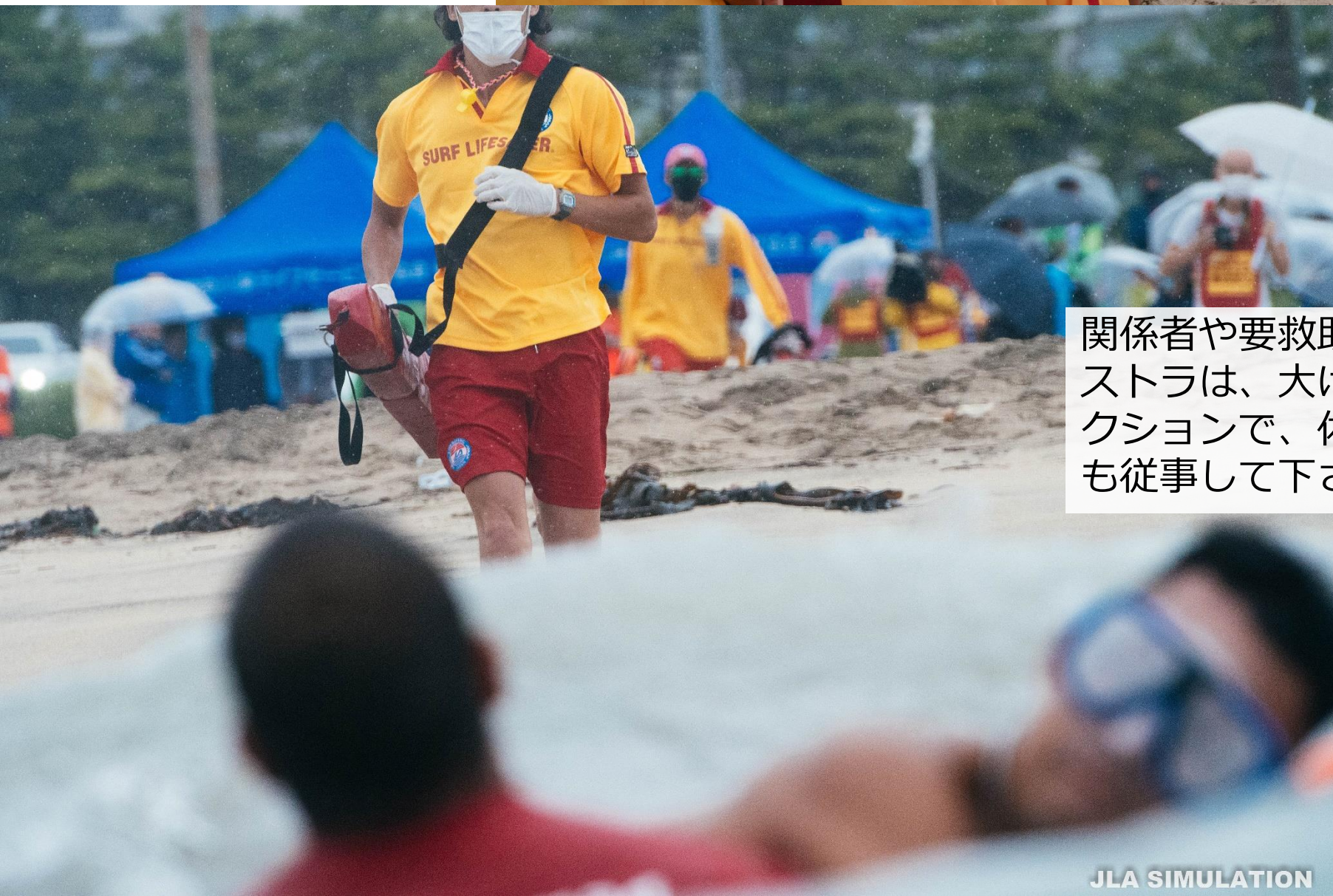
千葉県御宿会場では、夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 救急隊員3名の方々がエキストラに、また審査員としても職員の方がご協力いただき、想定を真剣に受け止めて実施していただきました。

JLA SIMULATION



次番者テント内では、審査会の統一事項など伝達に耳を向ける参加者も実災害をイメージし真剣です。


JLA SIMULATION



関係者や要救助者を演じて下さったエキストラは、大げさすぎず実際にあるリアクションで、体の冷える水中に入り何度も従事して下さいました。

JLA SIMULATION






カツオノエボシの触手が右腕に絡みついたことを想定し、実際の受傷事故に近い状態で、触手の裏には赤く腫れあがった状態を再現し、JLA教本に記述ある対応を実施しなかった場合は、3分後にアナフィラキシーショックを起こす付加想定。

各海水浴場で、クラゲ対応の認識に、差異があっては好ましくないので、カツオノエボシ含め様々な海生物刺傷に対する想定は当分の間継続していく予定です。

JLA SIMULATION



海生物刺傷傷病者の反応は、実際の傷病者に限りなく近い演技で行ってくださいました。

JLA SIMULATION



JLA SIMULATION

写真の傷病者は、体幹部分にサンオイルが塗布されており、搬送時、滑ってしまうことを狙いました。

水浴場には、サンオイル使用者は少なくありません。  
この対応についても、各チームの検討事項として持ち帰れたのではないのでしょうか。



JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



各チーム感染防止対策の装備は様々でした。

JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



各チーム感染防止対策の装備は様々でした。

JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



傷病者記録票の一枚目をさっと救急隊員に手渡し、申し送りは明瞭完結が、救急隊の現場早期出発に寄与できます。伝達の仕方も要検討事項です。まだまだ時間をかけず上手な引継ぎ方法があるかと思われます。

JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



メディカルダイレクターにより、  
推奨される感染防止装備と、装備  
離脱方法の注意点など紹介して下  
さいました。



味の素株式会社アミノサイエンス事業本部スポーツニュートリション部マーケティンググループ 若井 友里子様より、コンディショニングにおけるアミノ酸の重要性、運動前後におけるエネルギー・リカバリーとしてのアミノ酸の機能についてご講演をいただきました。  
高温多湿な炎天下で長時間活動するライフセーバーにとって、有意義な教養の時間となりました。

10月24日（土）葉山大浜海岸（神奈川県葉山町）

講演 「アミノ酸によるコンディショニングについて」

味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部 スポーツニュートリション部  
マーケティンググループ 若井 友里子 様



感染症対策に重きを置いた想定で実施された初年度でした。感染予防対策の器材はあるものの、水の中に入り救助し、ライフセーバー間で協力し観察し、救急隊の現場早期出発に寄与できるかに挑戦するために、多くの課題が発見できた想定ではなかったでしょうか。

この事は各海水浴場での環境は違えど、実際に起こり得た場合の対処をより現実的に課題として持ち帰れたのではないのでしょうか。

その他、『傷病者記録票』の取扱いによって、救急隊現着後も聴取継続し、救急隊に情報を早期に引き継ぎ、他の行動に移れないなど課題も見えました。

また、千葉御宿会場では激しく降る雨の中での活動となり、AEDの管理や、感染防止対策の各資器材、濡れて記入しづらくなった傷病者記録表の管理など、大きな課題発見もありました。



閉会式では、各機関からの貴重な講評があり、ライフセーバーが公的救助機関到着前や、現着した後、どんな行動・準備をすることが、早期搬送に寄与できるかご教授頂きました。この事は国内の水辺の安全管理に大きく影響されると考えます。

株式会社フィリップス・ジャパン様にご協賛頂いたAED及びAEDパットが充実していたことにより、多くのライフセーバーにとって、全国に水辺利用者にとって、より高度な公的救助機関との連携や技術の向上出来る機会となったと深く感謝しています。



## 2020年9月12日(土)御宿中央海岸(千葉県御宿町)

参加クラブ	24名(4チーム)
協力機関	12名(御宿町、勝浦海上保安署、夷隅郡市広域消市町村事務組合 消防本部、一般社団法人御宿町観光協会)
JLA役員・実行委員	7名(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	13名(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	17名
報道関係者	4名(千葉テレビ、毎日新聞、朝日新聞、千葉日報)
見学・観覧	30名
合計	<b>107名</b>



## 2020年10月24日(土)葉山大浜海岸(神奈川県葉山町)

参加クラブ	60名(10チーム)
協力機関	10名(葉山町、第三管区海上保安本部、横須賀海上保安部、 葉山町消防本部、東京消防庁LSC)
協賛社関係者	1名(味の素株式会社)
JLA役員・実行委員	7名(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
審査員	18名
エキストラ・スタッフ	18名
報道関係者	1名(ジェイコム湘南)
見学・観覧	60名
合計	<b>175名</b>



**全実施チーム14チーム**

**実施者84名 係員など108名 見学者約90名**

合計 **282**名

多くの参加者のもと実施された第5回JLAシミュレーション審査会は、今後大きなイベントとして飛躍する可能性を確信しています。

# メディア露出結果

## 千葉テレビ 2020年9月12日 (土)



ライフセービング技術向上目指して 早くも来シーズンに向けた審査会開かれる  
水難事故から命を救う活動を行うライフセーバーは、心強い存在です。このライフセーバーの来シーズンに向けた、審査会が12日、御宿町で開催されました。



この審査会は、JLA・日本ライフセービング協会が毎年各地で行っているもので、今回は御宿町の御宿中央海岸を会場に、千葉県内をはじめ関東各地から5チームが参加して行われました。



今年のシーズンは新型コロナウイルスの影響でほとんどの海水浴場が閉鎖され、ライフセーバーの活動の場もありませんでした。しかし来シーズンに向けて準備を進め



審査会では出場者が6人でチームを組み、監視業務やチームワークの良さ、それに溺れた人の救助活動から、救急車への迅速な引継ぎなど、手際よく行動できているかが審査されました。参加チームは日ごろ培った技術をいかに発揮していました。

市の...  
場...  
R2-

# 御宿 ライフセービング審査会

御宿町の中央海岸で12日、ライフセーバーが救助技術を磨く「JLAシミュレーション審査会」(日本)

いるので多古のPRにつなげれば」と話した。

カップラーメンの自販機はお湯が出る。ほかにも日本最大級の大きさの自販機も設けられている。配線図を置かれており、地元産物などを販売して置く予定。黒田さんは「肉そば」と「きつねそば」(多古は空港が近いし、300円) 高速道路も近くにあるのでアクセスしやすい。視聴者さんもそう、元気でない人も気軽に来更し、地域を盛り上げていく。た。

ライフセービング協会主催(が開かれた。降りしきる雨の中、県内外の4チームが水難事故を想定して本番さながらに救命活動を実施。来夏の海水浴シーズン



訓練で、海で溺れた遊泳者を搬送するライフセーバーら =12日、御宿町

海でクラゲに刺され痛みを訴えている負傷者への対応中に、溺れて意識不明の遊泳者が発生した状況を想定した。1チーム6人のメンバーは二手に分かれ、負傷者の処置のほか、意識不明者の心肺蘇生や一緒に来た友人からの聞き取り調査などに当たり、到着した救急隊に情報を伝えた。

新型コロナウイルス感染防止対策として、メンバーはマスクとサングラスを着用して審査会に臨んだ。国際武道大3年生で勝浦ライフセービングクラブの菅野敬介さん(21)は「夏にマスク着用は厳しい。人工呼吸もできない」と振り返り、「審査会の反省点を洗い出し、来夏に向けて明日から練習したい」と表情を引き締めた。

午前9時〜午後8時。水曜至木。月、日、金

## 長生特別支援学校

時30分から11時20分。希

エキスパー...

9月1日... 女子英... 米国... 梅子が... た。現在... 田は欧... 使節団... 本の女... 24年... 円札の... ▽1... 月に衝... 旧ソ... 機ルナ... の天体... 物本こ



千葉総局  
〒260-0013  
千葉市中央区中央3-10-4  
☎ 043-223-1911  
fax 043-223-1931  
mail chiba@asahi.com

京葉支局  
〒273-0035  
船橋市本中山2-1-18  
☎ 047-335-2141  
fax 047-335-2110

成田支局  
☎ 0476-32-5840

柏支局  
☎ 04-7167-8175

松戸支局  
☎ 047-368-2418

木更津支局  
☎ 0438-28-2424

館山支局  
☎ 0470-22-3155

茂原支局  
☎ 0475-22-2226

銚子支局  
☎ 0479-22-0241

きょうの天気

6-12時 降水確率 12-19時

10	千葉	20
10	我孫子	20
10	銚子	20
10	木更津	20
10	館山	20

千葉 我孫子 銚子 木更津 館山

西 西南西 南西

湿度 60%

波 2.0m

最高 最低

32度 24度

ライフセーバー 来夏へ始動



御宿町で開かれた審査会の様子

(稲田博一)

御宿町の御宿中央海岸で12日、来夏に備えてライフセーバーが早くも始動した。日本ライフセービング協会の「シミュレーション審査会」があり、関東地区の4チーム(各6人)が、溺れた人の救命など、実際のケースに即して対応する技術を競った。

この日の想定は、海水浴場で監視中に①クラゲに刺された人が助けを求めに来た②沖で溺れた人が見つかった、というもの。ライフセーバーはマスクとサングラスをするなど感染防止対策をとりながら、溺れた人を救助し、救命処置をしながら、消防署に連絡し救急車に乗せた。実際の救急車ややじ馬役のエキストラも登場し、緊迫した中で日ごろの訓練の成果を見せた。

参加した勝浦ライフセービングクラブの菅野敬介さん(21)は「国際武道大3年IIは「やじ馬役の人に惑わされて、対応が難しかった。この夏はライフセーバーとして何もできなかった。来夏に向けて明日から皆で訓練に励みたい」と話した。

御宿でシミュレーション審査会 感染防止対策訓練も

協会事務局によると、新型コロナウイルスの感染防止対策を含めた訓練をする必要があり、この時期に審査会を開いたという。

1人死亡 46

柏の高校、クラス

県内では12日、新たに46人の新型コロナウイルス感染者が判明し、治療中だった野田市の60代女性が死亡した。県と県教育委員会、柏市などは、

※12日現在。退院者、再陽性を含む。空欄

市町村	人数
白井市	27
宮里市	17
南房総市	2
匝瑳市	16
香取市	27
山武市	15
いすみ市	6
大網白里市	6
酒々井町	14
栄町	2
神崎町	1
多古町	5
東庄町	75

市町村	人数
千葉市	432 ⑬
銚子市	38
市川市	355 ④
船橋市	479 ④
館山市	6
木更津市	49
松戸市	340 ⑦
野田市	86
茂原市	15 ③
成田市	46
佐倉市	140 ①
東金市	6

県内の新型コロナウイルス感染者数

四街道市が市議会百条委に提出した造成工事の施工計画書関係書類や適用除外届出書の写し(一部にぼかしを入れています)

施工経緯  
2016年  
施工市  
除外届  
工事

17年  
変更

市議会

大谷  
指示  
面書  
(裁判  
委)

して  
とな  
も、市

# 感染予防し救命を

## 県内外4チーム参加

### 御宿・水難救助審査会

新型コロナウイルスに対応した水難救助のシミュレーション審査会が12日、御宿町の海岸であった。ライフセーバーの技術向上を目指して日本ライフセービング協会が主催、県内外4チームが参加し、来夏の活動に向けて研修した。

### 新型コロナ

想定した事故で水難者への初期対応や、救急隊への引き継ぎ手順などを救急専門医や消防関係者が審査した。その場に応じたライフセーバーの言動が細かくチェックされ、改善点などが指摘された。新たに感染症対策に配慮した対応ができていないかも重視された。

九十九里ライフセービングクラブ片貝の高岡裕智さん(21)は「手



審査会で救命措置のシミュレーションをするライフセーバー＝御宿町で

に意識が行ってしまっただけから感染予防を意識できるように工夫したい」と話した。今夏も海で事故

袋とマスク、サンングラスを着け、周囲を警戒して対応しようとしたが、実際には救命措置

観光協会と連携して海の事故を防止するため監視パトロールを連日行い、参加したライフセーバーが救命活動に貢献した。

8月9日、同町の海岸でポディーサーフィンを楽しんでいた中年男性が意識を失って海岸に打ち上げられる事故が発生した。海岸をパトロールしていた同協会職員でライフセーバーの林昌広さん(42)らが駆けつけ、近くにいた看護師と自動体外式除細動器(AED)を使うなどして救命措置を施し、救急隊が到着するまで対応した。男性はドクターヘリで搬送され、的確な初期対応により一命を取り留めた。

林さんはライフセーバーの元学生チャンピ

オンで日本代表キャプテンの経験もある。林さんは「何としても死亡事故を出してはいけないという思いで臨んでいる。地域の安全は地域で守らないといけない。海水浴場の開設がなかった今年の夏は特別な対応だったが、来夏の教訓にしたい」と話した。

### 柏の集団感染 60代女性死亡

柏市は12日、新型コロナウイルスに感染した野田市の60代女性が死亡したと発表した。女性は集団感染が発生

# 地元を自分たちで面白く

高校まで八千代市八千代台で過ごした。大学卒

(41)

といけないと気づかされた。自分も地元から始め

同社は、春と秋の年2

市町村別感染者数	432(+13)	57	
千葉市	38	27	
市川市	355(+4)	17	
船橋市	475(+4)	2	
山手市	7	16	
津市	49	27	
松戸市	340(+7)	15	
野田市	86	6	
原市	15(+1)	6	
		印西市	57
		西井市	27
		白富市	17
		富田市	2
		南房総市	16
		香取市	27
		山武市	15
		すみ市	6
		大網白	6

# メディア露出結果

## Webニュースなど

チバテレプラス

<https://www.chiba-tv.com/plus/detail/20200939656>

毎日デジタル

<https://mainichi.jp/articles/20200913/ddl/k12/040/020000c>

朝日デジタル

<https://www.asahi.com/articles/ASN9D7363N9DUDCB001.html>

千葉日報 有料サイト記事

<https://www.chibanippo.co.jp/news/local/722390>

d menu ニュース

<https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/chibatv/region/chibatv-20200914162216640>

gooニュース

<https://news.goo.ne.jp/article/chibatv/region/chibatv-20200914162216640.html>

海と日本PROJECTin千葉県TOP

<https://chiba.uminohi.jp/information/lifesaver/>

葉山 JCOM 神奈川つながるNews 横浜、鎌倉、横須賀 11月5日放送

# 参考資料

## 表彰結果

### 第5回JLAシミュレーション審査会

日付	場所	理事長賞			溺水防止救助救命本部長賞			メディカルダイレクター賞		
2020.9.12	御宿	西浜S L S C			勝浦L S C			横浜海の公園L S C		
		園田 俊	大野 秀志	片平 悠理 メリッサ	菅野 敬介	山田 英次郎	柳沼 秀哉	岩田 一希	伊藤 圭吾	上田 和希
		稲田 健太郎	高橋 勇人	前田 葵	椿 光一郎	田中 優樹	麻田 健太	佐藤 慎羅	北村 太輝	神田 綾
2020.10.24	葉山	横浜海の公園L S C			葉山L S C			南伊豆L S C		
		鍛冶 謙一	小勝 千尋	善波 雄一郎	加藤 智美	市川 悦子	津田 阿由加	古沢 佑真	鹿島 侑也	脇本 凌太
		落合 慶二	高木 惇暉	北田 尚輝	竹田 昇正	森本 祐一	高橋 健	井上 駿佑	高松 侑太郎	岡田 大輝
					西浜S L S C					
					亀谷 重思	高橋 勇人	糸井 成			
					前田 葵	細金 さくら	手島 七海			

Japan Lifesaving Association

# 【所感】

先ずは第5回目の審査会に参加して下さった多くの皆様に感謝いたします。

今年度の審査会は全国5カ所を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、千葉県夷隅郡御宿町須賀 御宿海水浴場と神奈川県三浦郡葉山町下山口 大浜海岸の2カ所での実施に至りました。

御宿海岸は雨降る中で、感染対策を講じるなど実施にあたり厳しい環境下の中でありました。また、大浜海岸では、多くの係員が関わって下さり注目度の高さを痛感し、各地域の消防行政、各県庁、支援して下さった企業様、地域のライフセービングクラブ様からのご支援、ご協力がなかったら成り立たなかったと痛感し、深く感謝申し上げます。

一方、今年度は、開催できなかった地域の方々含め、リモートでの審査会の振り返りを実施し、各クラブの活動記録から見えてきた検討事項などを、2021年度の夏期海水浴場の水辺安全管理に反映させて頂ければと願ってやみません。

JLAシミュレーション審査会は今後も引き続き、数多くの地域で実施していきたいと希望しています。

【効果として】

1. 各地域の消防行政と親睦を深め、相互理解を得ることにより有事対応に連携が図れる。
2. 実施チームの感じる緊張感は、実災害のそれに近い状態を作り出せ、そこで得た検討推奨事項は、今後の活動に反映させる事ができる。
3. 多くの参加者によってマスメディアへの注目度が高まり、社会的にライフセーバーの活動実態が広報される。
4. 他浜の活動実態を見学することから、使用資器材や連携技能、公的救助機関との引継ぎや連携行動の確認が可能となる。
5. 各公的救助機関からの講評を頂いたことにより、我々が引き継ぐ相手が、どんなことを求めているのか知り、今後の活動に反映できる。

各公的救助機関には、我々ライフセーバーの普段の対応を知ってもらう機会になり、グランドデザイン2061に掲げている、公的救助機関との連携強化の第一歩となったと強く確信しています。

各審査会実施地域で、実施後の振り返りを現地で行っているチームや、クラブごとに、この冬に間に振り返りの検証会などを行っているを見聞きしています。

このことについて、自身のライフセービング活動に向き合う向上心の高さに感銘しております。

実施者が入れ替わり、同じ想定を複数回実施することで、検討推奨事項を目の当たりにすることができる。一堂に集まりシミュレーション審査会を実施することは、実施者、審査員、係員、エキストラのすべての方々にとって、多くの気づきがあり、ホームビーチで活かせる術を持ち帰れたのではないのでしょうか。

最後になりますが、地域クラブから選抜された審査員の【検討推奨事項】は、各浜で長い歴史ある監視業務を先人から受け継ぎ、今日まで多くの経験に基づいて構築された貴重な物ととらえています。

第5回JLAシミュレーション審査会 検討推奨事項に示した『エキストラ所感』『審査員所感』は審査員などから取りまとめた【検討推奨事項】となりますので、『メディカルダイレクター所感』と同様、熟読して頂き、今後のパトロールに活かして頂くことが、審査会の根幹であり、運営側から切望するところであります。

今後も、皆さんと一緒に審査会の運営自体も検討し、大きな効果を得られるようご協力のほど宜しくお願い致します。

公益財団法人 日本ライフセービング協会  
溺水防止救助救命本部

第5回JLAシミュレーション審査会 実行委員長 菊地太